

災害時の車中泊は安全？

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、被災生活の手段の1つとして考えられている車中泊ですが、車中泊はあくまで非常手段。避難所での被災生活と比べ、車中泊には次のようなリスクがあります。



⚡ 車中泊による避難のリスクとは？

- ① 車内で長時間生活することで、エコノミークラス症候群や熱中症などにかかりやすくなる。
⇒エコノミークラス症候群の初期症状では、足への痛みなどの症状が現れ、その後症状が悪化すると胸の痛みや息切れ、さらには呼吸困難など命の危険が生じる場合があります。
- ② 車中泊を行う場所によっては、食料や物資、各種情報などが届きにくくなる。

やむを得ず

車中泊をする場合は…

事前の準備やちょっとした工夫で、車中泊の安全性だけでなく快適さも向上します。そこで、車中泊で避難生活を送るのに最低限必要なものを準備しておきましょう。

1 | 備蓄食料・飲料

エコノミークラス症候群は水分を十分に取っていないと起こりやすくなります。備蓄食料とともに用意しておきましょう。

2 | 断熱マット

キャンプ用品として知られていますが、車中泊でも重要なアイテムです。寝床などに敷くので十分な枚数を用意しましょう。

3 | クッションや毛布

防寒としてはもちろんですが、暑い時期でも座席の凸凹を埋めるために活躍します。

4 | LEDランタンや懐中電灯

ルームライトを使用し続けると車のバッテリーが上がってしまいます。燃料式のものだと一酸化炭素中毒になる恐れがありますので、電池式のものにしましょう。

❗ 「やむをえず」車中泊をする場合は不測の事態が起こる可能性もあります。そのような場合はすぐに車中泊をやめて別の避難方法を検討してください。

真鶴町お知らせメールへのご登録を！

町から災害時の情報伝達や防犯情報、防災行政無線の放送内容、新型コロナウイルス感染症に関する情報などを、ご希望の電子メールアドレスへ配信するサービスをしています。本サービスをご利用いただくためには、メールマガジンへの登録が必要です。

※登録方法が不明な場合などは総務防災課にお問い合わせください。

▼真鶴町お知らせメールへのご登録は、下のQRコードよりお進みください▼

PC・スマートフォンの場合



フィーチャーフォン(ガラケー)の場合



※読み取れない場合は、下記アドレスに空メールを送信してください。

t-manazuru@sg-p.jp

□問い合わせ 総務防災課 ☎内線 3 2 3